



## 牧之原で お茶をつくる 理由。

お茶の産地として知られる静岡県。なかでも牧之原は、その台地に広がる大茶園の面積が日本一を誇る、まさに日本を代表する茶どころです。

萩茶園はここで100年以上お茶を作り続けてきましたが、それには理由があります。

お茶の木は約15℃以上の気温と、年間1500ミリ程度の雨が降る、水はけのいい土地によく育つから。その上、牧之原台地は日照時間が長く、適度に霧も発生するという、お茶にとって絶好のロケーションなのです。